

③ 地域産業への貢献

広く地域社会に開かれた施設運営の一環として、地域産業の抱える技術開発等の課題解決のため、**産業界との共同研究、受託研究を行い、地域産業に貢献。**

また、その成果・ノウハウを、高度技能者養成のための訓練教材（総合制作実習等）として、有効に活用。

共同研究の事例

- ・東北職業能力開発大学校附属
青森職業能力開発短期大学校
「携帯用光糖度計」

「中小企業優秀新技術・
新製品賞」受賞



携帯用光糖度計

地元特産の農産物であるりんごを対象にした非破壊による糖度測定装置を開発。これにより糖度が確認された高品質な果実の出荷に貢献すると共に、糖度の計測時間が短縮された。

- ・北陸職業能力開発大学校
「きゅうり選別装置」



きゅうり選別装置

地元特産の農産物であるきゅうりを対象にした自動検査・選別装置を開発。従来、きゅうりの等級判別は目視・手作業により行なわれてきたが、この装置により選別に要する熟練と労力が大幅に削減。

受託研究の事例



- ・職業能力開発総合大学校東京校
「デジタルソースを活用した硝子成形技術教材の開発」

委託元である事業主団体において、団塊世代の大量退職により技術の継承が困難であることと、異業種組織であるが故の硝子成形法に関する総合的な教材がないことから、硝子成形にかかる技能・技術習得のポイントをデジタルソースを活用し、体系化を図ることで、ベテラン技術者の高度な技術の習得や硝子成形法の総合的知識の向上、技術習得時間の短縮に寄与する教材の開発を行った。

④ 地域におけるものづくり振興への支援

ポリテックビジョンの開催

地域におけるものづくり振興支援のため、施設を開放。全国の能開大、短大で開催。

参加者数 計30,400人(地域の教育界や産業界も多数参加)

- 開催内容
- ・ 訓練生や指導員等による卒業制作や職業能力開発研究成果の発表及び作品展示
 - ・ 地域ものづくりの現状・魅力をテーマに講演会やパネルディスカッション
 - ・ ものづくりの水準を競い合うロボット競技会 等

参加者の声

- 地元教育界と大学校との連携が地域の活性化に貢献していることが分かった。これからは、商工会議所の会員も積極的に連携に加わっていきたい。
- 訓練内容のレベルの高さに感心した。
- ロボット競技会参加校の競争心が、色々と工夫された特徴あるロボット製作に繋がっており、技術面のレベルアップに繋がっていると実感した。

ものづくり子供体験教室の実施

開催回数:251回 参加者数:15,518名

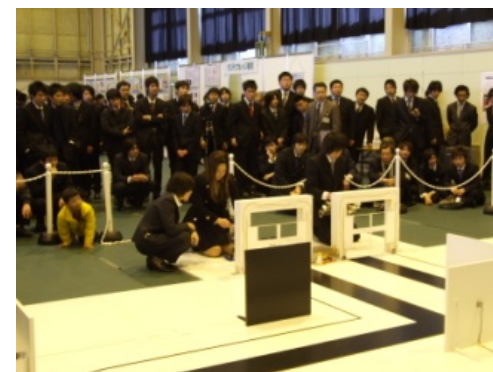
- (開催事例)
- ・NC工作機械による文鎮製作
 - ・電子オルゴール製作
 - ・音声反応歩行ロボット製作
 - ・CAD/CAMを利用した印鑑製作



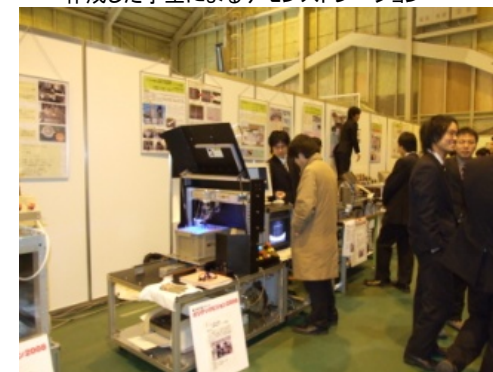
<ポリテックビジョン滋賀2008体験教室>教室の様子



<ポリテックビジョン滋賀2008体験教室>様子音で動くセンサーロボットのはんだづけ組み立て完成品



<ロボット競技会>
作成した学生によるデモンストレーション



<作品展示>
パネル展示などで来客者に分かりやすく説明